

2025年度 アジア学院学生一覽

農村指導者研修プログラム（農村開発科）

アジア学院は、1973年の創立以来、アジア、アフリカ、中南米等の「農村コミュニティリーダー」を学生として招き、リーダーシップ研修を行っている学校です。栃木県那須塩原市のキャンパスで、毎年9ヶ月間、民族、文化、宗教等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために実践的な学びを提供しています。

今年度は、17ヶ国から本科生27名、研究生2名を迎えて研修を行っています。

ウガンダ

Uganda



ジダ・ナクワンガ
Jida Nankwanga

アフリカ教会機構
Organisation of African Instituted Churches (OAIC)
主任農業指導員
Senior Farmer Advisor

ジダ・Jida

信仰、社会正義、持続可能な農業に深く関わる者として、私は小規模農家を力づけ、有機農業、土壌の健全性、気候変動への耐性を通じた食の安全保障の向上を目指しています。アジア学院でリーダーシップと提言力を高め、持続可能な生活と、より公正な食料システムの推進により、コミュニティに持続的な変化をもたらしたいです。

インドネシア

Indonesia



アンディ・ウイスノ
Andi Wisno

バタック・プロテスタント・キリスト教会
Huria Kristen Batak Protestant (HKBP)
牧師志願者 / 養豚家
Candidate Pastor, Pig Farmer

アンディ・Andi

私は持続可能な畜産実践とコミュニティ主導型農業を通じて、農家の権利や能力を高めることに尽力しています。教育と農場の持続可能性に情熱を注ぎ、信頼関係を築き、革新的な技術を導入し、経済的安定を図っています。人々が協力し、知識を得ることによって農業が繁栄し、安定した暮らしを実現できる未来を夢見しています。

エスワティニ

Eswatini



サンブロ・シゾ・ンカベラ
Sambulo Sizo Mkhabela

アフリカ教会機構
Organisation of African Instituted Churches (OAIC)
教師 / インターン
Teacher / Intern

サンブロ・Sambulo

私は信仰、人間関係、環境の持続可能性に価値を置く、地域主導型の人間です。自然、家庭菜園、チームワークに情熱を注ぎ、平和と自己成長のために日々努力しています。アジア学院では、リーダーシップと、人前で話す能力を高め、コミュニティにより良い奉仕をし、永続的で前向きな影響を与えることを目指します。

カメルーン

Cameroon



ヨン・プロスパー・ンゴ
Yong Prosper Ngoh

ビジョン・イン・アクション・カメルーン
Vision in Action Cameroon
農場管理者
Farm Manager

ヨン・Yong

私は持続可能な農業に関する知識と技能を高め、食の安全保障、収入の持続可能性、コミュニティの権利や能力の向上を強化することを目的とした団体の取り組みを前進させたいと考えています。コミュニティの結束力とレジリエンスを高めるための開発戦略を学ぶことを楽しみにしています。



サルモ・ベルトウ
Sarmo Berutu

パクパク・ダイリ・キリスト・プロテスタント教会 (GKPPD)
Pakpak Dairi Christian Protestant Church (GKPPD)
GKPPD マート管理人
GKPPD Mart Coordinator

サルモ・Sarmo

私は農業を生活の基盤とするアチェ・シンギル市で生まれ育ちました。教会活動に積極的に参加し、地域密着型リハビリテーションプログラムを通じて障がい者支援を行い、GKPPD マート(売店)を運営しています。アジア学院では、リーダーシップと農業の技能を深め、持続可能な農業の分野でも障がい者の育成を目指します。

コンゴ民主共和国 Democratic Republic of the Congo



ルコゴ・カヒュンバ・ファラジャ・ジョザファト
Lukogo Kahyumba Faraja Josaphat
中央アフリカペンテコステ教会コミュニティ
ティフヌ・ヌル
CEPAC FUNU NURU
ボランティア
Volunteer

ルコゴ・Lukogo

私は、資源不足や武力紛争の影響を強く受ける成人や若者と関わっています。大学で学んだ栄養学に加えて、持続可能な農業、リーダーシップ、紛争解決について学びを深めたいと考えています。帰国後は、農業研修事業を率いて栄養失調と闘います。

インド



アンソニー・カルヴァロ
Anthony Carvalho
ゴア・ダマン大司教区
Archdiocese of Goa and Daman
司祭
Priest

アンソニー・Anthony

農業、社会、宗教の発展を通じた農村地域の支援に力を入れています。長年にわたる農業経験を生かし、人々の農業への関心を復活させ、社会から疎外された人々が必要な資源を得られるよう助けています。帰国後は、持続可能な未来を見据え、教育と自助グループを推進しながら、有機農業と酪農の事業の確立を目指します。

スリランカ



アルンプシュパラジ・ラジャクマラン
Arunpushparaj Rajakumar
スリランカ・メソジスト教会
Methodist Church of Sri Lanka
牧師
Pastor

アルン・Arun

内戦の影響を受けたコミュニティを再建するのは容易ではありません。私は有機農業とコミュニティでのリーダーシップについて学びを深め、人々が持続可能な農業事業を立ち上げ、食料と収入の安定を高め、自給自足できるように手助けしたいと考えています。

リベリア



レベッカ・M・J・トンプソン
Rebecca M.J. Thompson
ペンテコスタル・ミッション・アンリミテッド
Pentecostal Mission Unlimited (PMU)
管理者 / コミュニティ・ボランティア
Community Volunteer Supervisor

レベッカ・Rebecca

私は8割の人が農業を生業としている農村地域に住み、人々が土地紛争などの地域の課題に対処する手助けをしています。アジア学院でリーダーシップを高め、農民たちの自給自足を促し、彼らがより団結して未来を創造できるよう経済的な取り組みを支援したいです。

カンボジア



サヴン・サヴ
Savoeurn Sav
ブレス・カンボジア・ネットワーク
Bless Cambodia Network
フィールドワーカー
Field Worker

サヴン・Savoeurn

私は農業研修、英語教育、コミュニティ・プロジェクトの指導を通して、農村部の家族の支援を行っています。学校や畜産に関するプログラムでは、家族がよりよい未来を築く方法を学ぶ手助けをしています。研修後は、有機農業を発展させ、持続可能な農業を実践できるよう、コミュニティを率いていきたいと思えます。

ミャンマー



ケンワン・ディウェン
Kenwang Diwen
トゥツァ・バプテスト教会協議会
Tutsa Baptist Church Council
福音・生計調整員
Gospel and Livelihood Coordinator

ケンワン・Kenwang

私は人生において、努力して生計を立てることや労働の尊厳を重んじています。教育を受けた身として、教会の支援活動や生計プログラムを通じてコミュニティに仕えています。自立を促すため、柿栽培の研修を指導したこともあります。アジア学院では、有機農業とリーダーシップ能力を強化し、コミュニティの向上につなげたいです。

マレーシア



エリザベス・ングン・チン・パー
Elizabeth Ngun Chin Par
農村開発のための地域連合
Community Association for Rural Development (CARD)
アシスタント・トレーナー
Assistant Trainer

エリザベス・Elizabeth

優れたリーダーが持つ最も重要な特徴は、情熱、コミュニケーション、勇気の3つだと思います。私はチン州の結束力と協調性に優れた農村コミュニティの出身で、環境保護とコミュニティの福祉に献身しています。持続可能な開発を支援するために、リーダーシップと農業の技能を向上させたいです。

リベリア



ロバート・S・デリック
Robert S. Derrick
合同メソジスト農村・農業開発プログラム
United Methodist Rural and Agricultural Development Program (UMRADP)
マーケティング・オフィサー
Marketing Officer

ロバート・Robert

私は農業開発従事者として、レジリエントなコミュニティの構築に情熱を注ぎました。季節的な洪水や、経済的な困難に直面している農家を支援し、生産と販売方法の改善を支援しています。アジア学院の研修を通して、奉仕と文化の多様性を重視する、人々を第一に考えるリーダーになりたいと願っています。

ガーナ



フランシス・クワミ・アヒアゾ
Francis Kwami Ahiazo
持続可能な地域開発センター
Centre for Sustainable Communities
環境管理者 / 農場補佐
Environmental Steward, Farm Assistant

フランク・Frank

私はコミュニティの土地紛争に関わり、意思決定の共有と積極的な傾聴を通じて、民族間の結束を促進しています。アジア学院では、持続可能な農業とリーダーシップの能力を高め、故郷のペキでインパクトのある食糧安全保障事業を立ち上げ、協力、生涯教育、自給自足の文化を築きたいです。

マレーシア



マレムコンビ・チャヌ・モイランテム
Molemkhombi Chanu Moirangthem
総合農村開発サービス機構
Integrated Rural Development Service Organization
プロジェクト・コーディネーター補佐
Assistant Project Coordinator

マレム・Malem

家庭・児童福祉を専門とするソーシャルワーカーとして、リーダーシップとコミュニティ開発に強い関心を抱いています。私は前向きな変化を生み出すためのチームワークと継続的な学習を大切にしています。支え合い、人々を力づけるコミュニティを育成することで、社会的不平等や若者の問題に取り組みたいです。

ミャンマー



カウ・タン・ウィン
Khaw Than Win
リス・バプテスト連盟
Lisu Baptist Convention
農業者
Farmer

タンウィン・Than Win

私は忍耐と持続可能性への強い思いをもって、人参栽培と養豚経営を行ってきました。市場の不安定さや正しい市場価格の不透明さの課題に向き合い、農家の搾取を防ぐための価格統制を提唱しています。私は団結心と寛容さ、教育支援、そしてすべての人に手を差し伸べることを大切にしています。

リベリア



A・ヴァーマー・サインディー
A. Varmah Sayndee
経済的エンパワメントと開発のための国民行動
National Action for Economic Empowerment and Development
プログラム・オフィサー
Program Officer

ヴァーマー・Varmah

NGOで10年以上働いた経験を生かし、透明性、チームワーク、人々の経済力の向上を推進しながら、地域の多様な民族や宗教の溝を埋める役割を担っています。私の目標は、有機農業と共同体生活について学ぶことであり、このことが、多様な人々が暮らす農業地域で、持続可能な農法を広めるために役立つと考えます。

ケニア

Kenya



ディケンズ・ワソンガ・オグット
Dickens Wasonga Ogut

ノミヤ・フウェヌ・マレール教会
Nomiya Fweny Maler Church

農業普及員
Extension Agriculture Officer

ボブ・Bob

私は農業と畜産の分野で30年以上の経験があり、コミュニティの農業の発展と能力開発に取り組んでいます。地域のモビライザーとして、食糧不足に対処し、持続可能な農業を推進する手助けをしています。私の目標は、有機農法で地元の農家の権利や能力を高めるようなモデル農場を設立することです。

ザンビア

Zambia



リリー・シンゲレンゲレ
Lily Singelengele

緑の農業 青年の会
Green Agricultural Youth Organization (GAYO)

代表取締役
Executive Director

リリー・Lily

持続可能な農業の推進と、気候変動に強い農業、アグロエコロジー、アグリビジネスにおける女性や若者のエンパワメントに重点を置いています。アジア学院で学ぶ技術を活かし、この活動をさらに推進し、技術を身につけた地元リーダーを育成し、地域でのより良い生活を促進するピアネットワーク作りを目指します。

ベトナム

Vietnam



ター・トゥイ・トラン
Ta Thuy Trang

メコン・オーガニック
Mekong Organics

ボランティア教育担当
Volunteer Educator

トラン・Trang

大学を卒業して以来、私は持続可能な農業の取り組みや環境保全について学び、それらを指導してきました。帰国後は、小規模農家と協力して地元産の果物や葉草のブランドを立ち上げ、持続可能な農家のコミュニティの形成に携わる予定です。

研究科一 トレーニングアシスタント

研究科生は学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、**トレーニングアシスタント(TA)**として学生の研修を助けます。

フィリピン

Philippines



マデリン・ブランコ・ヒネロソ
Madelyn Blanco Generoso

アティカ海外労働者・コミュニティ・イニシアティブ
Atikha Overseas Worker & Community Initiative

技術指導員
Technical Staff

マディ・Madie

海外フィリピン人労働者とその家族に対し、彼らの苦悩に共感して、アグロフォレストリーや社会起業の研修を行っています。モデル訓練校設立を支援するために、持続可能な農業を学びたいです。卒業後、出稼ぎ女性とその家族を支え、より強くレジリエントな地域を作るための資産計画を指導していきます。



サラ・ミシェル・アゾレス・ヴィオレン
Sarah Michelle Azures Violen

ジャイレ・チルドレンホーム
Jireh Children's Home, Inc.

寮監
House Parent

サラ・Sarah

私はコミュニティで、虐待を経験した少女たちの世話人/教育者として働いています。私は、小さな土地でも家族が持続可能な方法で必要な食料を生産できる術を学びたいと思っています。卒業後は自分の知識を他者と分かち合い、人々が持続可能で健康的な自立したコミュニティを作れるように指導していきたいと思っています。



ジュディス・ナカニカ
Judith Nakanyika

ミンドロ・エキュメニカル財団
Mindolo Ecumenical Foundation (MEF)

教師
Teacher

ジェイド・Jade

教師として子どもたちの好奇心を伸ばす教育を行っています。また、有機農業を推奨し、開かれた対話を通じて問題に取り組んでいます。食の安全保障を促進するため、土壌の健全性と環境保全に関する知識を深めたいです。卒業後は、自分の知識を活かして、コミュニティに持続的な変化をもたらす革新的な事業を率いていきます。



ニュートン・ムワンサ・チサンガ
Newton Mwansa Chisanga

ミンドロ・エキュメニカル財団
Mindolo Ecumenical Foundation (MEF)

農場スタッフ
Farm Staff

チチ・Chi Chi

優れたリーダーとは、情熱的で、共感力があり、聞き上手で、従う人々を大切にすると考えます。私はコッパーベルト地域で研修を指導し、持続可能な農業を推進しながら、農場や鶏舎、豚舎の管理を行っています。団体の生態系保全活動を強化するために、気候変動への耐性と有機栽培の技術を学びたいです。

日本

Japan



大木 瑞紀
Mizuki Oki

ミッキー・Micky

開発途上国の子どもの飢餓について学び、農業を通じてこの問題に立ち向かおうと強く心を動かされました。大学で熱帯園芸学を専攻し、オーストラリアで実地経験を積むことで、文化を超えた農業の力強さを理解できました。アジア学院で異文化に対する意識を高め、人と地球を支える農業を推進していきたいです。



川月 直志
Naoshi Kawatsuki

ナオ・Nao

私の大学での専攻は機械工学なので、農業は新鮮で刺激的な分野だと感じています。いのちを育む方法を学び、最終的にはその知識をより多くの人々に伝えていきたいと考えています。有機農業を探求し、人類と土のつながりについて考え、今日の世界で「共に生きる」ことを体現する実践的な方法を見つけたいと思います。

インド

India



ジェレミヤ・ナルザリー
Jeremiya Narzary

プリシラセンター
Priscilla Centre

現場責任者/自然農法指導員
Field Supervisor-cum-trainer, Natural Farming

ジェレミヤ・Jeremiya ('19卒)

私の有畜複合の有機農業と地域ネットワーク構築の経験は、災害時の自分の地域で大いに役立ちました。2020年の洪水後、被災者に作物栽培と家畜の複合による収入創出研修を行いました。また、化学農法の危険性について指導し、有機農法の普及に努めてきました。今後、健康、衛生、安全な食物、ゴミ分別について学びを深めたいです。

マラウイ

Malawi



ヴェニータ・カドゥヤ
Venitta Kaduya

ゾディアック放送局
Zodiak Broadcasting Station

ラジオプレゼンター/プロデューサー
Radio Presenter, Producer

ヴェー・Veh ('18卒)

私はラジオを教育と人々を力づけるツールとして使い、農業、地域開発、ジェンダー平等に関する番組を制作しています。また、女性たちに有機農業を、少女たちに再利用可能な生理用ナプキンの作り方を教えており、情報と行動を通じて持続的な変化を生み出そうと努めています。研究科生として、学生たちを育て、励ましていきたいです。

アジア学院は草の根で人々と共に働く農村指導者・コミュニティリーダーのための研修プログラムを実施しています。



卒業生たちは、世界で最も貧しく取り残された共同体が自分たちの食料、土地、コミュニティなどの資源を最大限に活用し、分かち合い、喜びを持って生きていけるよう、自立への手助けをしています。

仕える
指導者

学びの
共同体

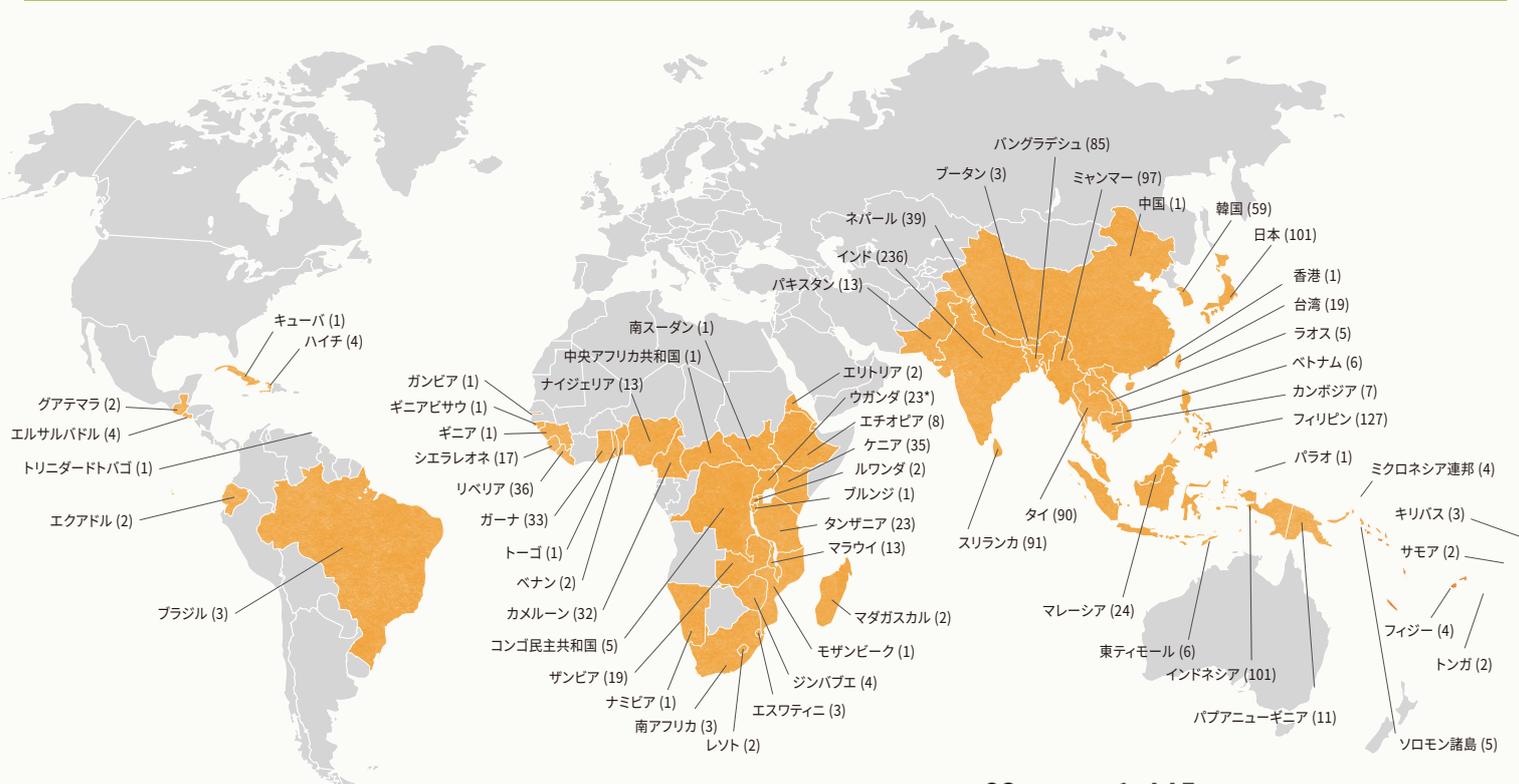
フード
ライフ

9ヵ月間の研修プログラムは「共に生きるために」という学院の掲げるモットーに導かれ、「仕える指導者」「フードライフ」「学びの共同体」の3つの柱で構成されています。



世界に広がる卒業生

Graduates around the world



卒業生の数は、63カ国から1,445名

ご支援
ください!

みなさまの開発途
上国に対する思い
をアジア学院に託
してください

>> 郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758
口座名義：学校法人 アジア学院
お名前、電話番号、郵便番号、住所を
ご記入ください。

>> ゆうちょ銀行

記号：10700 番号：8002711
口座名義：学校法人アジア学院

>> 足利銀行

支店名：西那須野支店
口座番号：(普通預金) 112403
口座名義：学校法人 アジア学院
理事長 山本俊正

クレジットカード・その他
のご寄付については：

<https://ari.ac.jp/donate/>

学校法人 **アジア学院**
アジア農村指導者養成専門学校

〒329-2703
栃木県那須塩原市槻沢 442-1
Tel 0287-36-3111
Fax 0287-37-5833

info@ari.ac.jp
<https://ari.ac.jp>

